

様式1(記入要領)

履歴書		写真添付
フリガナ		
氏名		
性別 ※ 生年月日	年月日(満歳)	
現住所	〒	
電話		
Email アドレス		
連絡先住所(現住所と異なる場合)		
学 歴		
年月	事 項	
年 月	大学もしくは大学と同等以上と認められる学校に入学した時点からすべての学歴を記入してください。また、学位取得の有無を明記してください。	
年 月		
年 月		
職 歴		
年月	事 項	
年 月	全ての職歴を書いてください。	
年 月		
年 月		
学会及び社会における活動等		
現在所属している学会		
年月	事 項	
年 月	学会および社会における活動のうち、教育分野ならびに研究分野に関連する事項を記入してください。	
年 月		
年 月		
資 格 等		
年月	事 項	
年 月	関連する資格、学位、教員資格等を記入のこと。学位は専攻分野および学位論文の名称も明記してください。合、(合)指定を受けたことがあれば、それも記入してください。	
年 月		
年 月		
賞 罰		
年月	事 項	
年 月		
年 月		
上記のとおり相違ありません。		
令和〇〇年 〇月 〇〇日 本人氏名 〇 〇 〇 〇 印		

※「性別」欄: 記載は任意です。未記載とすることも可能です。

様式3(記入要領)

欄が足りなければ、適宜増やして下さい。

教育実践業績一覧

教育上の能力に関する事項		
事項	年 月	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書・教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項	—	

1～4までは、文科省の大学の設置に係る提出書類の作成の手引き(令和6年度開設用)163～166ページの教員個人調書の書き方に準じます。
(https://www.mext.go.jp/content/20230323-mxt_koutou03-000024990_1_3.pdf)

これまでに担当された主な科目とその内容		
	—	
	—	

ご専門に近い主な担当科目について、担当科目名、学校名、授業の目標と概要、対象学年・学部学科にまとめて書いてください。
また、大学院で科目担当や論文指導をした期間があれば、(ご専門に近いかどうかにかかわらず)同様にまとめ、大学院担当であることを明記してください。

実践に関する事項		
実績項目	年	内容
	—	

実践の実績の欄には、1件ごとではなく、「何年から何年までここでこのような実践をした」という形にまとめた概要を書いていただいても結構です。